担当: 松田 侑樹年 組 氏名 (

この時間のねらい:

- 1. 変数の宣言方法を学ぼう。(今回は論理・色型について)
- 2. 論理演算と色を図形に適用する方法を学ぼう。

論理演算とは

そもそも、演算というのは(数値計算)を行うことです。

今回の論理演算とは、(状態を判定すること)だと思ってください。

例えば、Aボタンを押せば、キャラクターがジャンプするとすれば、

右のときコントローラーのAボタンは押されていますか?

 \rightarrow (Yes)

このように、Yes or No で答えることが出来るような演算を

(論理演算)と呼びます。



<u>論理型変数の宣言方法・利用</u> boolean ronri = false;//又はtrue

右上のように宣言する。

格納する値はtrueまたはfalseのみしかないが、意味を考えながら名前や値を入れないと、バグの 原因になりやすい。

なるべく利用したくない人が多いと思いますが、ゲームクリアの条件や、ブロック崩しでのブロックを 消す条件に利用する必要があるため、逃れることは無理でしょう。諦めな。

特別な変数

◆マウス

- mouseX ・・・・(現在のマウスの x 座標)
- ・ mouseY ・・・・ (現在のマウスの y 座標)
- pmouseX ・・・・(1フレーム前のマウスのx座標)
- pmouseY ・・・(1フレーム前のマウスのy座標)
- ・ mousePressed ・・・(マウスのボタンは押されているか)
- ・ mouseButton ・・・ (どのマウスのボタンが押されているか)

◆キーボード

- key ・・・(文字系のキーを格納する)
- ・ keyCode ・・・(特別なキーを格納する)
- ・ keyPressed ・・・(キーが押されているかどうか)

以上のものは決められている変数です。使用できるように覚えちゃいましょう。

メモ欄

パソコンのモニターには右の小さく黒い四角が無数にあります。

これを(画素)と呼びます。

この画素には特徴があり、場所によって色が光るようになっています。

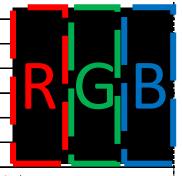
左から(赤(Red))、(緑(Green))、(青(Blue))に光ります。

それぞれの色の度合いによって、その部分の色を決めていく方法で

色付けを行います。これを(RGBカラーモデル)と呼びます。

また、パソコンの電源がオフのとき、それぞれの値は(0)です。→(黒)

それぞれの値の最大値は(255)です。3色を足すと明るさが増すので、(加法混色)である。



紙面上での色

続いてプリント等の色についてです。

小学校の頃に図工などで絵を描いたとき色を塗るときには

(青)、(赤)、(黄)の三色を使いましたよね?

コピー機も同じような色です。

色は(シアン(Cyan))、(マゼンタ(Magenta))、(イエロー(Yellow))、(キー・プレート(Key plate))

が使用されます。これを(CMYKカラーモデル)と呼びます。

ちなみに、色を混ぜれば混ぜるほど(黒)に近づくので、明るさが減る(減法混色)である。

Processing上で利用するカラーモデルは RGB になります。少なくともそれは覚えましょう。

色を変更する関数を見ておきましょう。

- ① fill(赤,緑, 責); ···(図形や文字の色)
- ② fill(赤,緑,青,透明度); ···(透明度ありver)
- ③ background(赤,緑,青); ***(背景色)
- ④ stroke(赤,緑,青); ・・・(図形の縁の色)

これらを利用すると、色を変更しカラフルな見た目を実現できます。

最後に色の変更方法、変数宣言方法を紹介します。

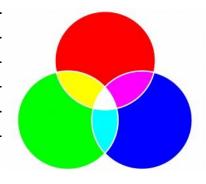
右のように混合する色の度合いを調整することで、たくさんの

色を作ることができます。

たとえば,赤+緑=(黄)です。

それぞれの色をどれくらい混ぜるかで、色の違いが出ます。

困った人は(HTMLカラーコード表)を検索し、利用しましょう。



変数宣言方法は右下のようにして下さい。

color iromei = color(赤,緑, 責);